

(昭和55年5月3日告示)

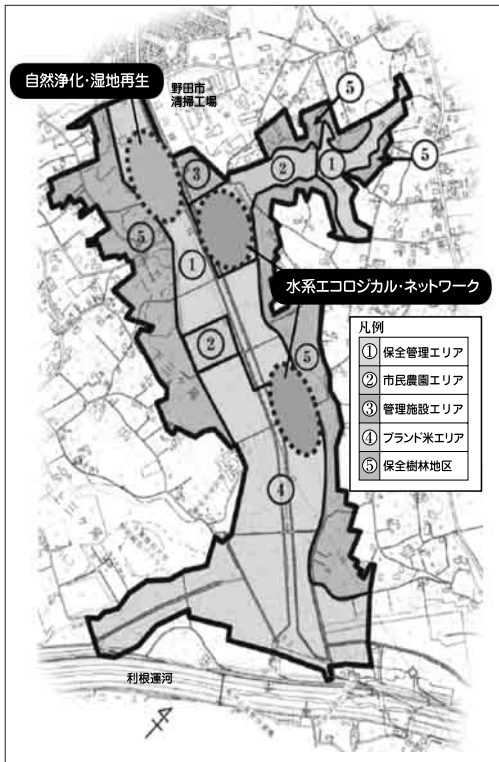
- 1 郷土の自然を愛し、平和で安全な環境を守ります
- 2 たがいに助け合い、すべての市民の幸福を願います
- 3 からだをきたえ、仕事に励み、楽しい家庭をつくります
- 4 きまりを守り、信頼と愛情を深め、心豊かな社会を築きます
- 5 教養と文化を高め、自由と希望に満ちた郷土をめざします

発行：千葉県野田市役所（〒278-8550 野田市鶴奉7番地の1・☎047125-1111代表）

ホームページ = <http://www.city.noda.chiba.jp>

携帯電話用のホームページ = <http://www.city.noda.chiba.jp/k/>

■江川地区ビオトープ整備計画図



ビオトープ化を進める江川地区で

水田でも産卵できる「魚道」整備や

休耕田の水生植物帯を活用した水質浄化も

市では、江川地区の里山の風景を残し、自然と共生する地域づくりを進めるため、ビオトープ化(生物生息空間)を進める一方で、市が発案者となり国や近隣市と共同で、「利根運河エコパーク構想」を策定し、実現に向けての検討をしてみました。今年度からは、同構想の生き物が住みやすい環境整備の具体策として、冬の田んぼに水をはる農業や、江川排水路と水田を結ぶ水路整備、水生植物帯による水質浄化を行っていきます。

市では、かつて民間事業者による宅地開発が計画されていた江川地区を、自然保護団体と共同で、平成16年に「自然環境保護対策基本計画」を策定し、現

在では、約90ヘクタールの区域でビオトープ化(生物生息空間)を進めています。また、18年には、農業生産法人(株)野田自然共生ファームを

設立し、農地の取得や取得した農地の水路の整備や復旧作業などを進め、昨年4月には、昔ながらの減農薬による米作りが体験できる「水田型市民農園」(2面参照)も開設しました。

利根運河の水辺環境再生も

一方、同地区に隣接する利根運河は、生活雑排水の流入で水質が悪化し、自然が損なわれつつあるため、18年に市が発案者となり、「国土施策創発調査」を実施し、自然や歴史と調和した地域空間の実現に向けて、国や県、近隣市と連携して「利根運河エコパーク構想」を策定しました。

また、19年には、「利根運河協議会」を設置して、同構想の実現に向けて「利根運河エコパーク実施計画」を策定し、協議を進めています。さらに、市では、同構想の一



冬期湛水で鳥類のえさ場も確保

環として、江川地区の自然を同計画の核の一つとし、水質浄化や水生生物の生息環境の再生など、利根運河から江川地区に通じる水系エコロジカル・ネットワーク(分断された生き物の生息・生育空間をつなぎ、生態系の回復や保全を行うこと)作りに向けて検討してきました。

そこで、市では今年度から、利根運河協議会の「エコロジカル・ネットワークの形成」の具体策として、冬期でも田んぼに水をはる農業や、利根運河に通じる江川排水路と江川地区の水田を結ぶ水路の整備、水生植物帯による水質浄化などで、江川地区の一層のビオトープ化を進めています。

整備方法は、自然保護団体の(2面へつづく)